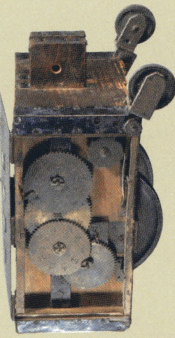


忠敬が使った測量道具

忠敬が使った測量道具は、職人に特別注文して作らせたもので、当時としては最も精密なものでした。

量程車 (りょうていしゃ)

ひもを付けて地面を引くと下の車輪が回り、その回転数から長さを測ることができます。昔の道はデコボコが多かったので、あまり使われませんでした。

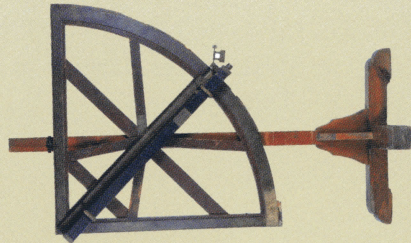


梵天 (ぼんてん)

測量地点の目印として立てました。約5mの竹竿の上部に白の布切れなどをつけ、目立つようになっています。

象限儀 (しょうげんぎ)

忠敬の地図には☆印が付いています。この道具を使って天体観測を行った場所を示しています。



半円方位盤 (はんえんほういばん)



平らな台の上に置いて、測量のときに目印にした山や島の方位を測りました。

忠敬が住んでいた家



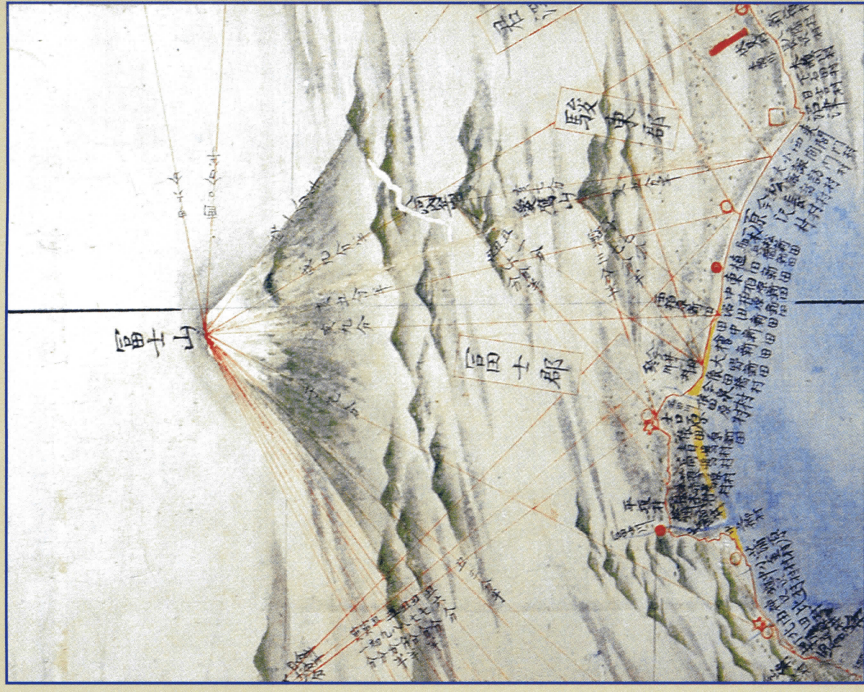
伊能忠敬が17歳から50歳まで住んだ家です。伊能家は酒造りの商売をしていたので、原料や商品の船積みにより便利なうに家は小野川に面しています。現在では店と住居の一部、それに蔵が一つ残っていますが、忠敬の頃にはたくさん酒蔵が建っていました。国の史跡(歴史上価値の高い遺跡)に指定されています。

忠敬の年表

年号	年齢	できごと
延享2年(1745)	0	上総の国(現千葉県九十九里町)小関家に生まれる。名前は三治郎。
宝暦12年(1762)	17	佐原の伊能家へ婿入りし、忠敬を名乗る。
天明1年(1781)	36	名主(佐原村をまとめる役職)になる。
寛政6年(1794)	49	伊能家の商売を子供に譲って隠居し、勘解由を名乗る。
寛政7年(1795)	50	江戸に住み高橋至時の弟子になる。
寛政12年(1800)	55	第1回測量(東北・北海道南部)
享和1年(1801)	56	第2回測量(関東・東北地方東部)
享和2年(1802)	57	第3回測量(東北地方西部)
享和3年(1803)	58	第4回測量(東海・北陸地方)
文化1年(1804)	59	正式に幕府に登用される。
文化2年(1805)	60	第5回測量(近畿・中国地方)～文化3年まで
文化5年(1808)	63	第6回測量(四国地方)～文化6年まで
文化6年(1809)	64	第7回測量(九州地方の1回目)～文化8年まで
文化8年(1811)	66	第8回測量(九州地方の2回目)～文化11年まで
文化12年(1815)	70	第9回測量(伊豆諸島、忠敬は不参加)～文化13年まで
文化13年(1816)	71	第10回測量(江戸)
文政1年(1818)	73	江戸で亡くなり、浅草の源空寺に埋葬される。
文政4年(1821)		日本全図の完成

伊能忠敬記念館

小中学生用



伊能中図から富士山部分を拡大

当館所蔵の「伊能忠敬関係資料」2345点は、平成22年6月29日 国宝に指定されました

〒287-0003 千葉県香取市佐原イ 1722-1
TEL 0478-54-1118 FAX 0478-54-3649